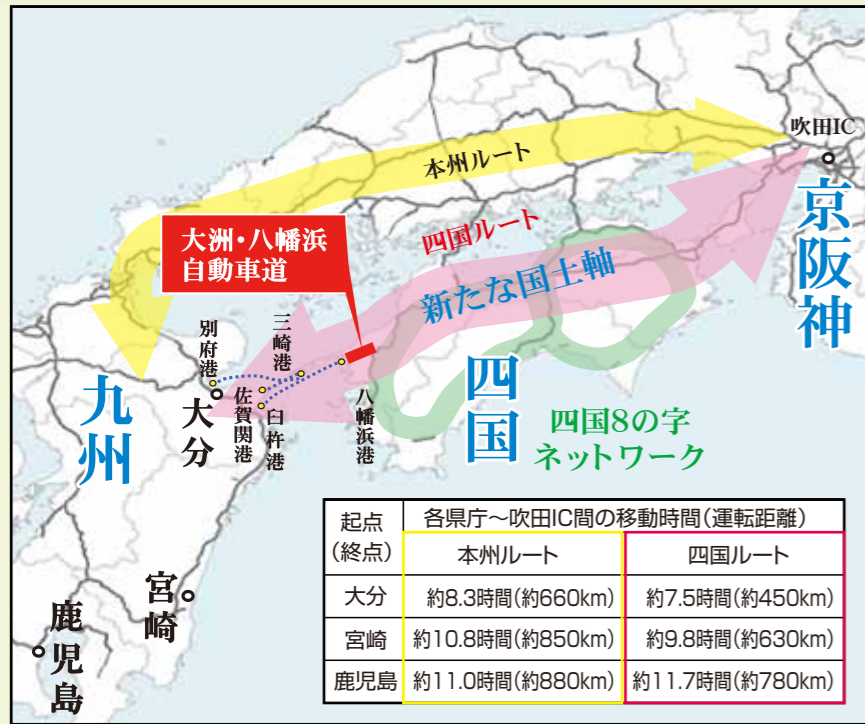
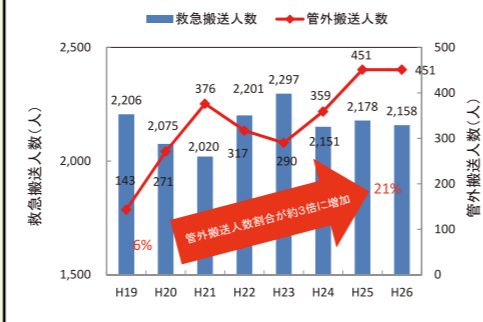


つながってこそ道路ネットワーク機能が発揮



八幡浜地区施設事務組合 消防本部における救急搬送人数と管外搬送人数



地方創生の拠点 道の駅・みなとオアシス「八幡浜みなと」年間100万人が利用



八幡浜IC完成予想図

国道197号

「大洲・八幡浜自動車道」全線の早期完成を目指す

つながる道、つながる命

住民の声

命のみち

前区長会長 近田 三郎 (伊方町)

「名坂道路」の開通により、それまで渋滞個所であった名坂トンネルを通行することなく快適に八幡浜方面に行くことができるようになりました。八幡浜市には市立八幡浜総合病院があるため日常生活における安心感が高まりました。

しかし、現在も市立病院の医師不足による救急医療体制は深刻な状況であるため、大洲市や松山方面の医療機関への搬送時間短縮など多くの効果が期待できる「大洲・八幡浜自動車道」の早期完成を要望します。

地方創生のみち

宮本 一見 (八幡浜市)

八幡浜には、新しい魚市場で水揚げされた新鮮なさかなやブランドみかん等おいしいものがたくさんあります。中でもかんきつ類の出荷量は愛媛県1位です。

八幡浜を代表する特産品を大消費地である首都圏まで「安く・早く・新鮮なままで」運ぶためにも、「大洲・八幡浜自動車道」と四国の高速道路網とをつなぐ道路整備は地元産業の活性化のために必要な事業であります。

よって早急な整備促進をお願いします。

建設促進決起大会



八幡浜東IC完成予想図

日時：平成28年6月18日(土)
13:30~15:00(受付12:30~)
場所：ハーバープラザホテル八幡浜

大洲・八幡浜自動車道の整備に関してご意見等がありましたら下記までお寄せください

国道197号(大洲・八幡浜・西宇和間)地域高規格道路建設促進期成同盟会
事務局/〒796-0292 愛媛県八幡浜市保内町宮内1番耕地260番地(八幡浜市役所建設課内)
TEL:(0894)36-1116 MAIL:kensetu@city.yawahama.ehime.jp

大洲・八幡浜自動車道 計画図



伊方原発から5km(PAZ)、30km(UPZ)の距離を円で表示



(四国電力HPより)

伊方原子力発電所
町道九町九町越線

半径5km
(PAZ)

29年度
新規事業化要望区間

地域高規格道路 大洲・八幡浜自動車道 L=約13km

名坂道路
2.3km

H25.3
供用開始

八幡浜道路
3.8km

事業中

夜昼道路
4.2km

事業中

大洲西道路(仮称)
約3km

事業中

八幡浜市保内町喜木

八幡浜市大平

八幡浜市郷

大洲市平野

大洲市北只

保内IC

八幡浜東IC

八幡浜IC

平野IC(仮称)

大洲北只IC

市立八幡浜総合病院



八幡浜市役所



市立大洲病院

老朽化が進行している
夜昼トンネル
(建設後44年経過)



慢性的に渋滞する
江戸岡交差点



交通量 21,189台/日
混雑度 1.60

交通量 15,459台/日
混雑度 1.21

※交通量=1日当たりの自動車通行台数
混雑度=交通量(2010年調査)÷交通容量
(数値が大きいかほど混雑しています。)

地域の課題

大洲・八幡浜自動車道は、四国8の字ネットワークに接続することで、「臼杵港・別府港」と「八幡浜港」、「佐賀関港」と「三崎港」のフェリー航路を介し、九州から四国を経由して京阪神に至る「新たな国土軸」を機能させるために不可欠な道路です。

また、南海トラフ地震が今後30年間で70%程度の確率で発生すると予測されていることから、東日本大震災を教訓とする大規模災害時の緊急輸送道路や伊方原子力発電所における緊急の事態が発生した場合の広域避難路として重要な役割を担うものです。

さらに、当地域は医師不足が深刻であることから、救急搬送路としても八幡浜・大洲医療圏域を結ぶ「命の道」でもあります。しかしながら、まだ事業化されていない区間(大洲市北只～同市平野)が約3km残されているため、地域の産業や観光の振興等に寄与し、大規模な災害に対応した安全で安心できる地域づくりのための道路整備が緊急の課題となっています。

大洲・八幡浜自動車道の概要

大洲・八幡浜自動車道は、愛媛県の西部に位置する八西地域(八幡浜市及び伊方町)と四国縦貫・横断自動車道を連絡し、自動車専用道路として整備する全体計画延長約13kmの「地域高規格道路」です。

平成9年度に八幡浜市大平から同市保内町喜木間2.3kmを「名坂道路」として事業化し、平成25年3月に供用を開始しています。また、平成17年度には八幡浜市郷から同市大平間の3.8kmを「八幡浜道路」として、平成25年度には大洲市平野から八幡浜市郷間の4.2kmを「夜昼道路」として事業化しており、早期完成にむけて整備を進めています。平成27年9月には千丈トンネル工事が完成し、引き続き、松柏トンネルの工事に着手しています。

早期の全線整備を図るため、残る大洲市北只から同市平野間の「大洲西道路(仮称)」(約3km)の平成29年度新規事業化を要望します。